

## ～こどもシェルター開所6周年&自立支援ホーム開所3周年～ 「市民向けシンポジウム」を開催しました！

### こども支援における「心理的安全性」 こどもとの関係が向上 支援チームの作り方

2023年6月4日 @オンライン

兵庫県立尼崎総合医療センター小児科医上村克徳氏より、「こども支援における心理的安全性～組織における「構造」と「対話」～」と題し、ご講演頂きました。

チーム内における心理的安全性について、必要な知識・考え方の説明があり、その上で、自身の所属先での実践的な取組みを元に、組織というチームの構造の中で、いかに対話を通じて心理的安全性を確保するが等、心理的安全性を作る上での重要な視点・意識の説明がありました。

その後、パネリストとして上村氏に加え、当法人の理事で臨床心理士の羽下大信氏、兵庫県西宮こども家庭センター家庭支援課長の落合恵子氏をお迎えし、当法人理事の内海陽子弁護士がコーディネーターとなり、同テーマについてのパネルディスカッションを行いました。

各パネリストの知識・経験等を踏まえ、パネリストの各分野での心理的安全性に向けての取組みや組織の作り方から、会議における心理的安全性の作り方、多忙時に可能な円滑なコミュニケーションの方法等、また、子どもの言動という外部因子によって内部の心理的安全性が崩れる場合の対処方法についてまで、と幅広くして活発な議論が交わされました。



WEB開催

## ミニ講座を開催します。ぜひ、ご参加ください！

**1** **日時** 2023年10月26日(木)  
18:30～20:00

**テーマ** 「シェルターでの生活について」

**講師** 國富 さとみ 氏  
(弁護士、NPOつなご運営委員)

**内容** シェルター「こころん」での生活及び支援について、入所していた子どもの声とスタッフの活動を紹介します。

**2** **日時** 2023年1月19日(金)  
18:30～20:00

**テーマ** 「子育てと心理的安全性  
～家庭の中で子どもとはぐくむために～」

**講師** 國重 真由美 氏  
(児童家庭支援センター 子そでサポートひかり臨床心理士)

**内容** 子どもと親が互いに安心して関わるためのヒントをお話します。

申込方法：Eメール tunago\_minikouza@yahoo.co.jp  
参加希望のミニ講座番号、氏名(ふりがな)、職業、電話番号、住所、メールアドレス、応募動機を記載してください。

## こころんハウス通信

### 短冊に込めた願い

こころんスタッフOより

暑さが気になりだした7月上旬

シェルターでは子どもたちの発案により七夕の短冊をみんなで作る事にしました。

庭に生えている木の枝を竹の代わりにして各自自分たちの願いを書いた短冊を飾り付け★

書き終えた短冊を覗いてみると子ども一人ひとりの個性が垣間見えてきます。



「アラブの石油王と結婚したい」「可愛くなれますように」「税金5%にして欲しい」といった子どもらしくおもわず笑ってしまうような内容から「高校卒業できますように」「カフェを開きたい」といった将来の事、「家に帰る」「お母さんに私のことを分かって貰えますように」といった子どもたちの心の声。

スタッフも一緒に願いを書いていましたが子どもたちの願いとは打って変わり「腰痛が治りますように」「肩こりが治りますように」と健康に関するものがほとんどでした 笑

そんな中で我が理事長の弁護士は「宝くじを当てたい」と誰よりも欲張りなお願いを書いて子どもたちに笑われていました。

当日子どもたちは晴れた空を窓から見上げ「織姫と彦星会えてよかった。私も彼氏に会いたいよー」と叫びながらスタッフが作ったちらし寿司を満足そうに頬張っていました。

コロナウイルスの感染拡大により恒例だった行事が軒並み中止になってしまった去年ですが今年は季節ごとのイベントを再開していきたいと考えています。  
行事を通し子どもたちに季節を感じてもらい少しでも制限のあるシェルターでの生活が鮮やかなものになればいいと思います。

